

日刊 磐城時報

磐城石城郡平町編居町吉... 印刷所 磐城印刷局

當選した猪狩氏 就任を辭退か

信用組合平庶民金庫總代理人會は當分欠員のまゝ事務執行され

理事諸橋久太郎、關内正一、青沼録太郎、野崎滿藏(以上再選重任) 諸橋敬一郎、山崎清三、猪狩庄平。

義金けふ發送

感激する罹災民

大火の大野、大浦兩村罹災民に對する平町各區からの義捐金は對する平町各區からの義捐金は

春は氣まぐれ 稀有の暴風荒れる

緊留中の漁船二艘流失大破

きのふ正午頃から降り出した豪も近頃は氣狂ひ天氣が連續して雨が一晩中降り續いて漸やく止んだと思つたら今度は暴風だ、

二十年ぶりの温暖な陽氣が出現した、また宙返りして二十四日の雨の亂れを疑視めながら

巨救事業の 繼續施行

入遠野で陳情

入遠野村地内縣道水田、平線は去る七年度から三ヶ年繼續巨救事業として施工され既に豫定通り竣工したが、地元入遠野村では

又も大浦に火事

けふ烈風中

大浦村字狐塚農山野邊松治方隠居から二十五日午前七時頃火事となり、消防總動員で警折からの烈風にあほられ忽ち同原因の大火から、損害百圓。

去る二十三日大浦村役場を訪つた若い女性が受付係に「大火罹災民救済金の一部に入れて下さい」と一通の書状を置いて名も告げず去つた、開封すると金二圓に添えて

大火の大浦村に 咲いた女性美談

化粧品を廢して義捐金に

私は村内の者ですが大火で焼出された人たちの思ふと氣の毒でなりましたが、少額ではあっても買ふのをやめて貯金したものであります。

糸姫の提灯行列

片倉製糸の 蠶神祭奉祝

片倉製糸工場では今年社内蠶神祭を奉祀し新業の發展向上を祈願することになり毎年三月廿八日を祭日と定めたが、この最初の蠶神祭は来る二十八日選座式を兼ね多数來賓を招いて盛大に執行する。なほ前夜七時から男女工四百名の市中提灯行列を行つて奉祝の意を表することになった。

輝やく純愛の金字塔 大浦村大火義捐金

二十四日現在で二千圓突破

大浦村大火罹災民に寄せられる卒業生を輩出してゐるが、今年も亦過般執行された鐵道備人等々あるが二十四日現在で採用試験に左記七名が合格して

道路改修竣工

磐城村大入制

字藤原地内延長六百米の村道改修補助工事は昨年十一月下旬から堂で舉行するが、参加希望者は四月十二日まで平町マルト運動具店に申されたい。

卓球大會

主催縣下三

縣下三人制 平卓球協會主催縣下三卓球大會は來月十四日午八時から平第三小學校講堂で舉行するが、参加希望者は四月十二日まで平町マルト運動具店に申されたい。

木村醫院の工事

四月下旬に落成

四倉町本町に建築中の木村醫院は目下着々進工してゐるが四月下旬落成五月上旬移轉開業の豫定である。

優等の誇り

第一校の巻

五年 櫻井博、鈴木善彌、三井眞一、木下藤三、飛田常重、齋藤三、永山剛一、飯沼賢一、吉田之衛、關内三夫、正木秀夫、松本眞平、渡邊弘道、山崎常三、小山田俊夫、鈴木重雄、小齋賢一、石雄二、中川圭二、吉野武、龜山正邦、飯島登司、小

成績優秀なる 青年校卒業生

青年學校

は最近順みに成績向上し優秀な卒業生を輩出してゐるが、今年も亦過般執行された鐵道備人等々あるが二十四日現在で採用試験に左記七名が合格して

斷然増加した 産婦受檢者

四倉署管内で五十名

四倉署管内本年度産婦受檢者受檢者は二十四日現在で産婦二十名、看護婦三十七名で昨年に比し合計二十名の増加で、これにも非常時に於ける女性の職業意識の反映が見られる。

斷然増加した 産婦受檢者

四倉署管内で五十名

四倉署管内本年度産婦受檢者受檢者は二十四日現在で産婦二十名、看護婦三十七名で昨年に比し合計二十名の増加で、これにも非常時に於ける女性の職業意識の反映が見られる。

